

AIScope3.4 簡易マニュアル

AIScope3.4 は Windows7 および 8.1 専用ソフトです。

ファイルの開き方

1. ソフトを立ち上げます。
2. 可視化したいデータファイルをドラッグ&ドロップする

基本マウス操作

- ・基本操作はマウスとキーボードです。
- ・マウス操作の代わりにタッチパル操作も可能です。
- ・画面の中央からドラッグすると上下左右に平行移動します。(対象物体の中央ではありません)。
- ・画面の中央以外からドラッグすると回転します。
- ・ホイールスクロールにて拡大縮小します。

基本キーボード操作

- ・矢印キーを押すと回転します。
- ・ページダウン／アップキーにより拡大縮小します。
- ・x キーを押すと一つ次のフレームに進みます。ここでのフレームとは時系列で並んだデータにおいてある時刻のデータを意味します。
- ・z キーを押すと一つ前のフレームに進みます。
- ・shift+x キーを押すと最後のフレームまで動画の様に連続再生します。
- ・shift+z キーを押すと最初のフレームまで巻き戻し再生します。
- ・フレームの進み幅は「メニュー」→「動画」→「フレームスキップ」で指定できます。
- ・ウィンドウの端をドラッグすることで画面サイズを変更できます。

画像の出力

- ・「メニュー」→「出力」→「BMP 出力」を選ぶことで BMP 画像を出力することができます。
- ・「メニュー」→「動画」→「出力」→「ビットマップ連番出力」を選ぶことで、現在のフレームから最後のフレームまでを連番ファイル名の BMP 画像として出力することができます。

- ・ここで出力した連番ファイルを利用すれば、フリーソフト等で動画が作れます。
- ・「ビットマップ連番出力」におけるフレームの進み幅も上述の「フレームスキップ」での設定に従います。一般の動画では 24 コマの画像が 1 秒間に相当しますので、それに応じてフレームスキップで間引くことが有効です。

断面表示モード

- ・「メニュー」→「表示」→「表示断面」→「中央へ移動」を選ぶと「断面表示モード」に移行します。
- ・現バージョンで表示できるのは視線方向に垂直な断面です。
- ・「断面表示モード」の場合は w キー、および、q キーで断面を手前・奥に移動できます。
- ・「メニュー」→「表示」→「表示断面」→「リセット」を選ぶと「断面表示モード」を終了します。

その他

- ・「メニュー」→「表示」→「射影」にて正射影と透視射影を切り替えられます。
- ・背景色など上記以外の設定値は設定ファイル”setting.ini”を編集し、アプリケーションを再起動することで変更できます。設定ファイルは「メニュー」→「ヘルプ」→「設定ファイルを開く」を選ぶことで開くことも可能です。各種設定項目に関しては以下の AIScope の配布サイトにてご確認ください：

<http://www-fps.nifs.ac.jp/ito/software/aiscope/>

- ・対応ファイル形式は粒子データ、フィールドデータ、軌跡データ、モンテカルロ計算用と様々です。各種対応ファイルのフォーマットに関しては同梱のディレクトリ「対応ファイル仕様書」の中の資料をご覧ください。